

女性の就労に関する意識調査（ダイジェスト版）

千葉市女性センターでは「女性の就労に関する意識調査」を実施しました。この調査は多様化する雇用環境、雇用形態の中で、女性の労働状態の実状、仕事観や経済的自立観等の意識を調査し、今後の情報提供や施策へ反映させていくことを目的としています。

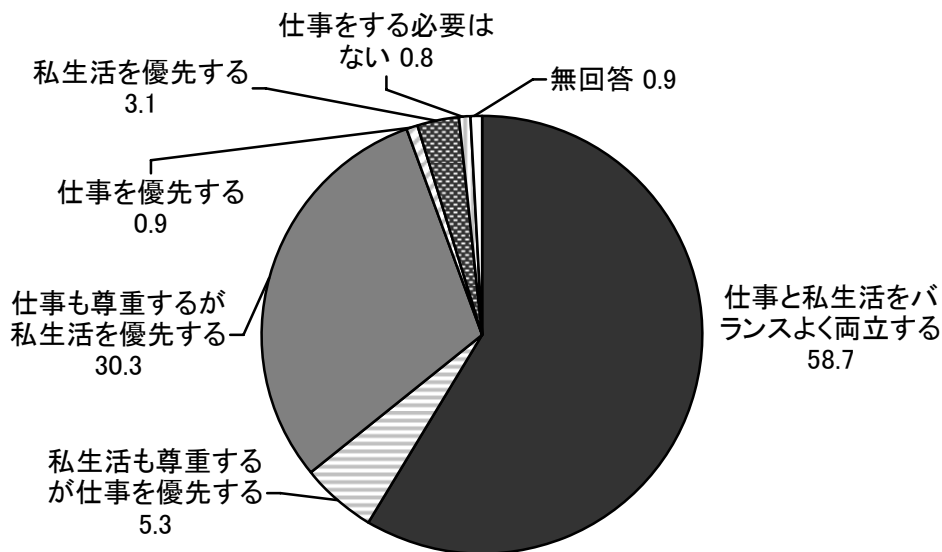
○調査の対象	千葉市在住の満20歳以上60歳未満の女性3,000人（無作為抽出）
○調査の方法	郵送配布－郵送回収法
○調査の期間	平成16年8月14日～平成16年8月30日
○回収状況	有効回答数 1,013件 有効回収率 33.8%

※%は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、%の合計が100%にならないことがあります。

仕事と私生活のバランス

仕事と私生活のバランスは、「仕事と私生活をバランスよく両立する」が約6割（58.7%）と高い割合を占めました。次いで「仕事も尊重するが私生活を優先する」が約3割（30.3%）となっています。

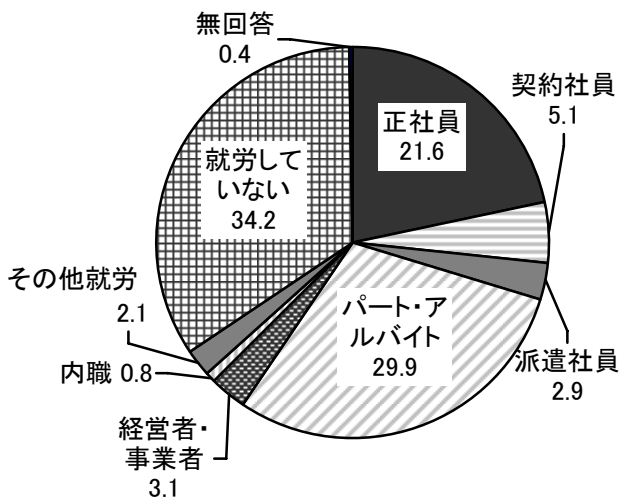
全体（N=1013）（%）



現在の就労形態

6割以上の方が何らかの就労形態で有償労働に就いています。

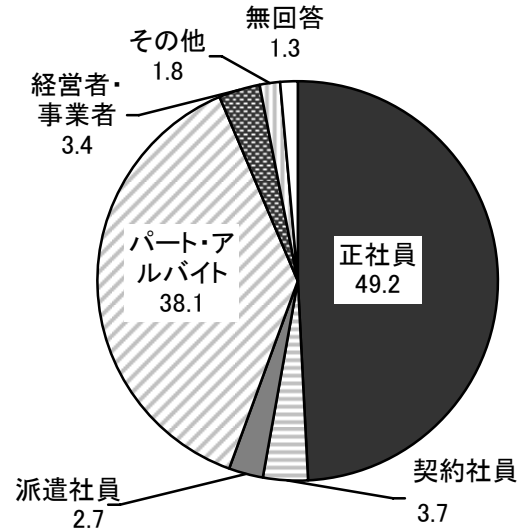
全体 (N=1013) (%)



望ましい就労形態

「正社員」が約半数を占めました。また、「パート・アルバイト」も約4割を占めています。

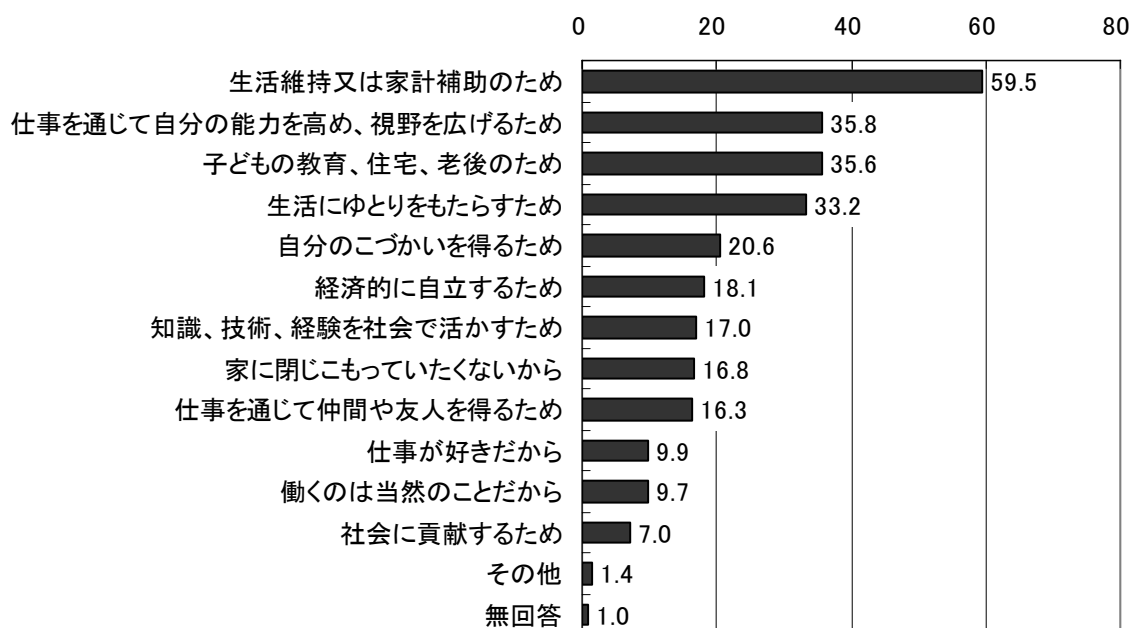
全体 (N=1013) (%)



仕事をする目的や意味

仕事をする目的や意味は「生活維持又は家計補助のため」が59.5%と最も高く、次いで「仕事を通じて自分の能力を高め、視野を広げるため」の35.8%、「子どもの教育、住宅、老後のため」の35.6%となっています。

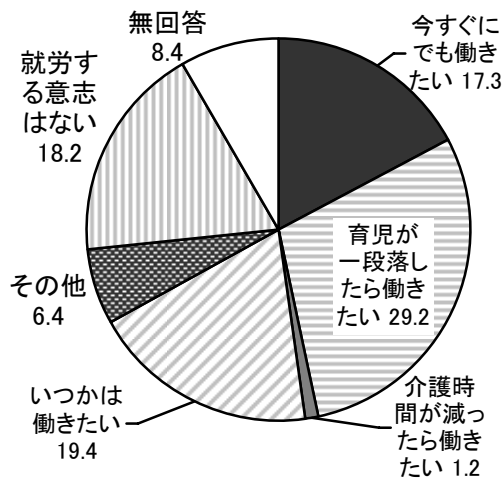
全体 (N=1013) (%)



就労する意志の有無

現在、有償労働に就いていない方におたずねしました。「就労する意志がある」が約7割と高い割合を占めています。

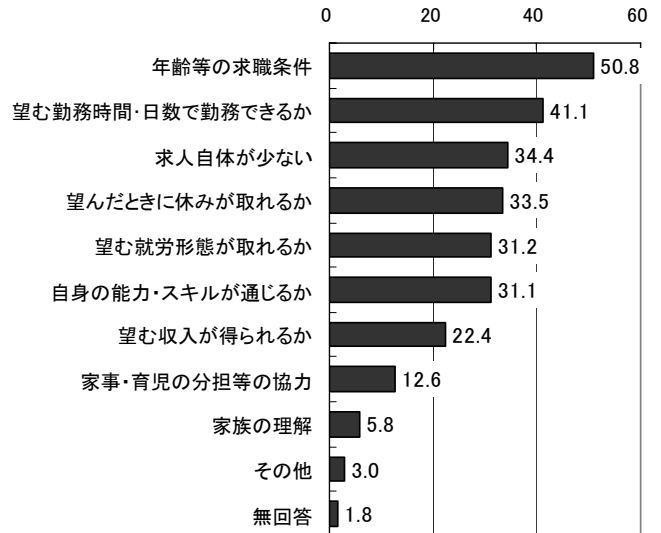
全体 (N=346) (%)



就労や転職する際の不安や障害

「年齢などの求職条件とあわない」が50.8%と最も高くなっています。

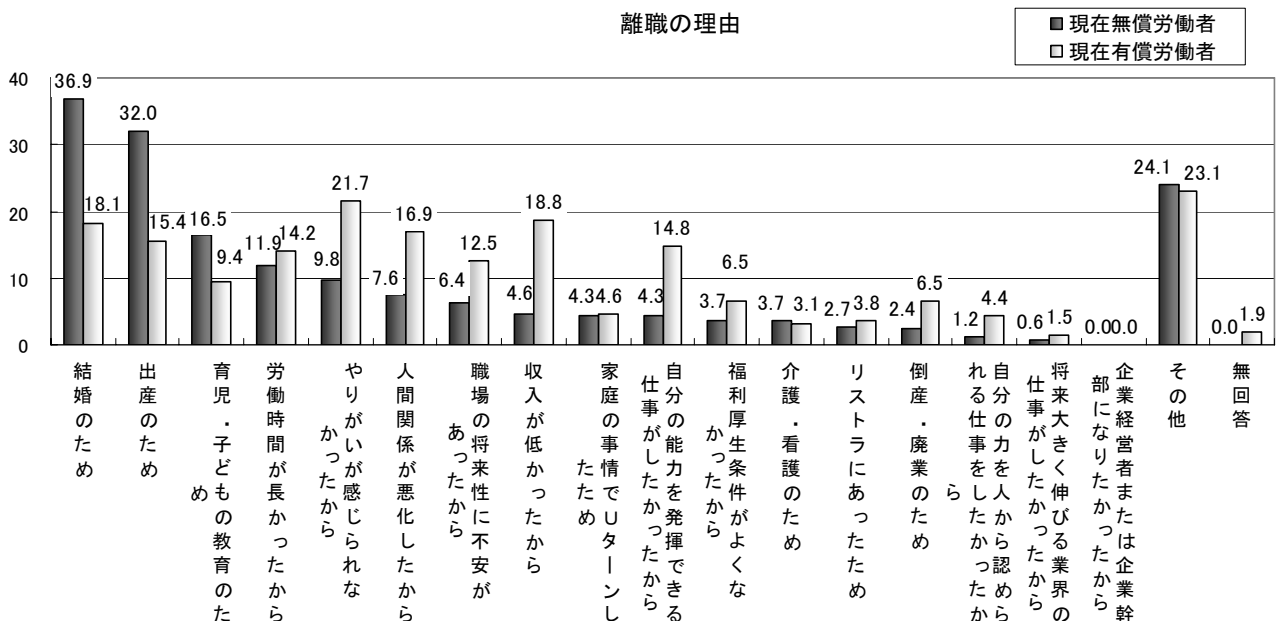
全体 (N=1013) (%)



離職の理由

離職の理由は無償労働者では「結婚のため」「出産のため」の順で高く、有償労働者では「やりがいを感じられなかったから」「収入が低かったから」の順となっています。

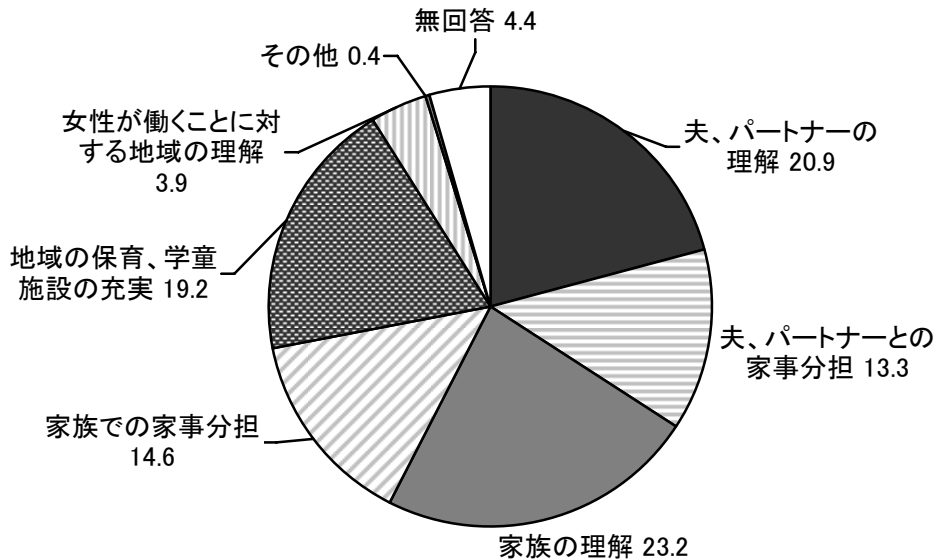
(無償労働者=328) (有償労働者=480) (%)



女性が働きやすい家庭や地域の条件

夫や家族に対し約4割の方が働くことに対する理解を求めています。また、約3割の方が家事の分担を求めています。

全体(N=1013)(%)



今後に向けて

①女性が就労しやすい環境づくり

仕事と家庭のバランスをとりながら働きたいとの希望が高いという結果が得られました。一方、女性が無償労働と有償労働の両方を担っていることが多い現実があります。家族の協力や男性側への理解を促すなど、様々な生き方に応じて多様な就労の形態が選択できるような社会づくりのための環境整備が望まれます。

②家庭維持や育児と有償労働の両立への支援

職場では女性の就労をサポートする制度が広がりつつありますが、本調査からは、結婚や出産を機に退職する方が多い現状がうかがえました。「育児に専念する」「有償労働を続けてゆく」などの選択肢を女性が各々で選択が出来るよう、家庭や職場の理解や支援が必要とされていると思われま

③長期に亘る離職後の再雇用、再就職への広範囲な支援

本調査では女性が結婚や出産を機に離職する場合、離職期間が長期に及ぶことが多いことが判明しました。長期にわたる離職期間が不安材料や障害ではなく、自身を高めるための時間として有効利用できるような支援等、再雇用、再就職への広範にわたるバックアップが必要と思われま

発行日：平成17年2月

発行：千葉市市民局生活文化部男女共同参画課

千葉市女性センター 電話：043-209-8771

※なお、本調査報告書は千葉市女性センター及び市内図書館にございますので、詳しくはそちらをご覧ください。